

2023年7月3日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

## auじぶん銀行 日本製造業PMI®

## 6月、製造業の業況が再び悪化

## 主な動向

生産高と新規受注数、共に縮小

サプライヤー納期、2016年3月以来となる堅調な改善

購買価格の値上がり、28か月間の最低ペース

2023年6月のデータ収集期間: 2023年6月12~23日。

6月のデータによると、2023年第2四半期の終わりは、日本の製造業の業況に再び停滞がみられた。主要指数は生産高と新規受注数の減少を受けて、また縮小傾向へと戻ってしまった。しかし、主要指数を構成する二大要素が減少したにもかかわらず、日本の製造業全体では顕著な改善も一部にみられた。まず平均リードタイムが2か月連続で短縮をみせた。原材料の需要低迷を受けて、企業らは改善を指摘しており、短縮具合は7年以上にわたる期間で最大だった。購買価格上昇が2021年2月以来の最低水準だったという製造業の指摘どおり、サプライチェーンと原材料の在庫状況の改善も価格圧力を緩和していた。しかし、コストの増加は高止まりで推移し、調査史上平均値を上回っていた。

6月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、5月の50.6から49.8へと低下。業況がわずかに悪化したことを指摘した。

6月、生産高の減少は11か月連続に及び、新規受注数の減少と従業員の適性不足が度々指摘された。しかし、減少率はわずかだった。

6月は新規受注数もわずかだったが縮小傾向へと推移。調査回答企業らの多くが、製品、特に半導体と電子部品の需要低迷を指摘していた。特に中国市場からの需要低迷を受けて、2月以来最大且つこの6月で16か月連続の減少となった輸出受注数にもこの影響が表れていた。

第2四半期の終わり、製造業は、生産高縮小の中、業況の停滞傾向を受けて購買活動が11か月連続で減少。しかし、減少規模は今年2度目の最低水準だった。企業らはサプライヤー納期が継続的に改善していることを指摘。サプライヤー納期は2016年3月以来最大の短縮具合を記録した。企業らは、今後の需要回復に備えて、購買品および完成品それぞれの在庫維持に努めた。

6月のデータでは、購買コストが37か月連続の上昇を記録。原材料費、エネルギーコスト、人件費の高騰が日本の製造業の平均購買コストを継続的に圧迫していたことを示した。高止まりで推移する中、インフレ率は5月から緩やかになり、2021年2月以来の最低水準へと低下した。この影響

(次頁に続く)

auじぶん銀行日本製造業PMI  
季節調整済み、>50 = 前月比で改善

出所: auじぶん銀行、S&amp;PグローバルPMI

## コメント

S&amp;Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「2023年半ば、最新のデータは、日本の製造業で業況がわずかに悪化していることを指摘した。主要PMI指数の55%を占める新規受注数と生産高は、共に縮小傾向へと推移した。製品、特に半導体の需要低迷と労働適性関連の問題が、売上および生産高に大きく影響した。」

最新の調査では、需要低迷と生産高の減少による二重のメリットが観測された。まず、6月はサプライチェーンへの圧力がさらに緩和され、平均リードタイムが2か月連続で短縮した。わずかだったとはいえ、納期の短縮具合はここ7年以上にわたる期間の最大だった。そしてこれもインフレ圧力の緩和につながり、購買価格指数を28か月間の最低水準へと低下させた。しかし、価格は記録的高止まりで推移し、調査回答企業らの多くが原材料費やエネルギーコスト、人件費の高騰を平均購買コストの継続的上昇の主要因として指摘していた。」

は、顕著なペースで上昇しそれでも21か月間の最低水準だった販売単価にも表れた。

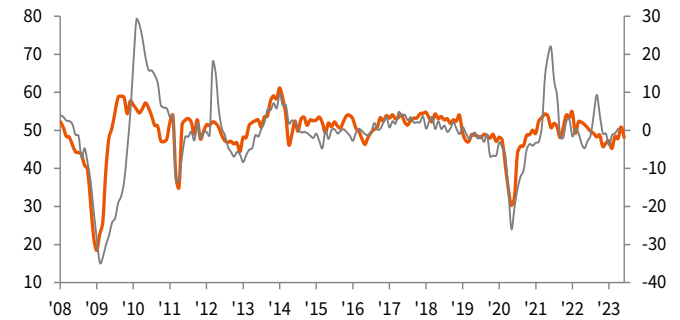
製造業は、需要低迷が既存の受注残完納につながったともコメントを寄せた。受注残が継続的に減少したこともこれを裏付けている。減少ペースに5月からほぼ変化がなく、全体的に適度だった。また、雇用数が今年最大に迫るペースで上昇した。企業の実態をみる限り、6月は一時雇用やパートタイム労働者の数が増加していた。

直近の調査期間では、今後1年にわたる事業活動は活発になる見通しが強まり、全体的な楽観的な景況感を2021年10月以来の最大値へと押し上げた。企業らは、広範にわたる経済回復とウクライナの紛争による影響の収束、半導体市場の回復により売上が増加するだろうと期待を寄せていた。

### PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高  
前年比 (%)



出所: auじぶん銀行、S&PグローバルPMI、経産省 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス)

## お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

[Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp](mailto:Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp)

Usamah Bhatti

エコノミスト

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +44 1344 328 370

[usamah.bhatti@spglobal.com](mailto:usamah.bhatti@spglobal.com)

SungHa Park

コーポレートコミュニケーションズ

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +82 2 6001 3128

[sungha.park@spglobal.com](mailto:sungha.park@spglobal.com)

### 調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者へ毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(デフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2023年6月のデータ収集期間: 2023年6月12~23日。

PMI調査方法の詳細は、[economics@ihsmarkit.com](https://economics@ihsmarkit.com)へお問い合わせください。

### auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

#### auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

### S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク (NYSE: SPGI) は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: [www.spglobal.com](http://www.spglobal.com)

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、[katherine.smith@spglobal.com](mailto:katherine.smith@spglobal.com)へお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

### PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™ (PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、[ihsmarkit.com/products/pmi.html](https://ihsmarkit.com/products/pmi.html)をご覧ください。

### 免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたけいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global

© 2023 S&P Global